

会員のみなさま

JSPEHSS 常務理事の関根正美です。

これを書いている時は年度末でまだ桜は蕾ですが、お手元に届く頃は年度の変わり目で場所によっては桜の開花とともに、会員の皆様におかれましては慌ただしい日々を過ごされておられる方も多いと思います。

3月14日に第6回の理事会が開催されました。

議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。その中からいくつか内容についてご紹介します。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/jspe20260314.pdf>

#### （1）第76回大会（北翔大学）について

第76回大会については主に4点が審議され、了承されました。一つは、3日間の大会会場のスケジュールが本部企画シンポジウム、専門領域、応用（領域横断）研究部会、専門領域学際企画いずれも決定しました。二つ目は大会テーマの英文表記と大会企画の進捗状況についてです。実行委員会のご尽力により、スポーツ庁長官による基調講演の内諾を得ていただきました。本部企画シンポジウムは2件ともにシンポジストも確定し、魅力あるプログラムをご準備いただきました。

また、前回の学会通信で会員企画の募集について予告いただいておりますが、理事会にて公募要領が承認を得て、3月19日付で会員の皆様にご連絡を差し上げています。あまり締め切りまで時間がありませんが、形式にとらわれないテーマと方法で体育・スポーツ・健康科学に関する議論や交流が生まれる機会になって欲しいと願っています。大会ホームページも公開されておりますので、それをご覧いただき参加申し込みをお願いいたします。

#### （2）学会 HP のリニューアルについて

しばらく更新されていなかった HP の仕様のリニューアル案が承認されました。システム面でのアップデートとともに、デザインも改善される見込みです。これによって、現状で散見されたエラーが改善され、セキュリティ面・機能面の双方で大幅な改善が見込まれます。

#### （3）中教審における教職課程体育の位置付けに関する議論への対応について

2025年12月20日の理事会後に緊急シンポジウムが開催されましたが、その後、教員免許法改正と体育をめぐる問題は望ましくない方向で急進展しました。2026年2月に開催された中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会のとりのりわけ中学校・高等学校作業部

会で「教職課程内に位置づける必要はない」との方向が示されたとの情報を受け、全国大学体育連合が中心となって日本スポーツ体育健康科学学術連合、日本体力医学会とともに運営委員会でも要望書の検討に加わり、中教審の作業部会に対して合同で提出することを理事会で承認しました。日本スポーツ体育健康科学学術連合を通じて、この件をご承知の方もおられると思います。今回の問題に関しては厳しい状況であると思われます。しかしながら、体育・スポーツ・健康・身体の評価や未来世界におけるそれらの役割について、学術団体として学問的知見の蓄積と発信がこれまで以上に本学会員に求められてくるものと思われます。

#### （４）その他

- ・第12回日独スポーツ科学会議のお知らせを3月18日に国際交流委員会からお届けしています。
- ・第79回大会（2029年）の主管校について、お引き受けいただける大学から内諾をいただくことができました。6月の総会にて、78回大会の主管校と合わせてご報告します。